

平成30年(2018年)5月8日
区民委員会資料
環境部ごみゼロ推進担当

生ごみ等の減量による燃やすごみの減量の推進について

家庭から排出される燃やすごみの量は着実に減少しているが、その約4割を占める生ごみ及び約2割を占める紙ごみの更なる減量化を実現するため、フードロス対策事業や、資源化可能な紙(雑がみ)の資源化に取り組み、燃やすごみの減量を推進する。

1 新渡戸文化短期大学と連携したフードロス対策事業

(1) 夏休み親子料理教室の開催

日常生活の中で毎日料理をする際に発生する食品残渣に着目し、残さず食べ切るよう、食品の無駄を省き、材料を美味しく使い切る工夫などについて、親子で楽しめる料理教室を通して、次世代を担う子どもを中心に食品ロス削減の意識啓発を図る。

(2) 「あまりもの」レシピの募集

常備している野菜やあまりがちな食材などを使った、家庭で作りやすく簡単な手順でできるレシピを公募・表彰し、エコフェア等で広くレシピを紹介することで区民の食品ロス削減の意識を高める。

2 出前講座等における雑がみリサイクルの普及啓発

雑がみは、資源化可能にもかかわらず、燃やすごみに約2割が含まれており、その資源化を促進するため、雑がみ保管袋を出前講座等で解説しながら配布し、区民のリサイクル意識を高める。

3 今後の予定

6月 夏休み親子料理教室参加者募集

(区報、区公式ホームページ掲載予定)

8月 夏休み親子料理教室開催(2回開催予定)

「あまりもの」レシピ募集

11月 エコフェアにおけるフードロス・雑がみの啓発事業